

作り目のつくり方

手あみをはじめるとき、
どの作品にも最初に必ずつくらなければならないのが作り目です。
作り目とは、あみものの「編み始め」になる目のことを言います。
さあ、毛糸とあみ針を準備して
写真の順に、まずは練習してみましょう。

初めての人でも
慣れたらカンタン！
しっかりマスター
しようね！



1 編みたい編み地の幅の3～3.5倍の毛糸を引き出し、左手の4本指に毛糸を一周巻き付けます。

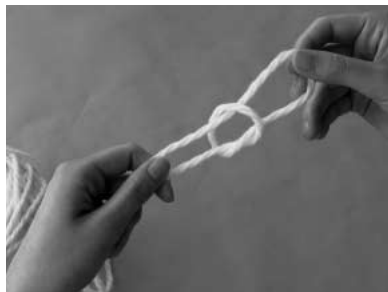


2 右手の人差し指を輪に入れ、写真のように糸をつかみます。



3 そのまま引き抜きます。

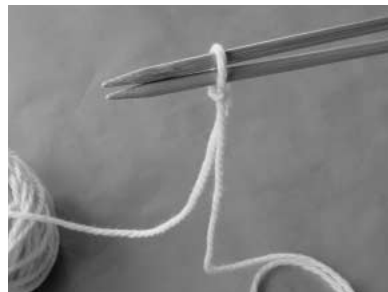
このサイトで紹介しているマフラーを編む場合(マフラーの編み方PDF)編み地の幅が18cmであることから(マフラーの編み図PDF参照)約70cmの糸を引き出すことになります。



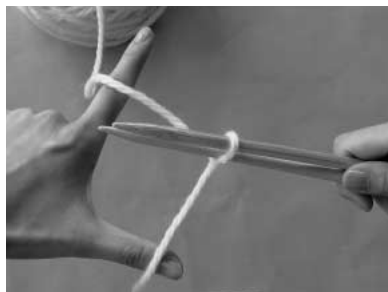
4 右手で引き抜いた糸は持ったままで左手を抜きます。



5 両手で糸を引っ張ると結び目ができます。



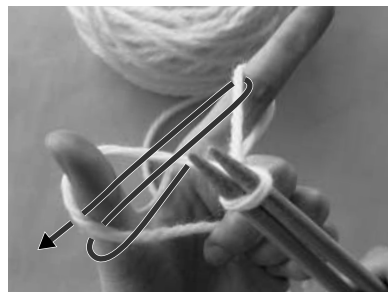
6 輪の中に針を入れます。糸の先端を引っ張ると輪が小さくなり、これが1つめの作り目になります。



7 あみ針を右手に持ち、左手の親指と人差し指を糸の間に入れます。この時、糸玉に続く糸を人差し指に、短い方の糸を親指側に掛けます。



8 親指と人差し指はそのまま、残りの指で糸端を握ります。手の甲を下に向けます。



9 矢印の順に糸をあみ針ですくっていきます。

9の針の動きを、もっと詳しく説明しましょう。



針先を親指の付け根におろし、指にそって糸をすくいます。



人差し指の糸を針先の上から下に指にそって動かし、すくいます。



すくったら親指の糸の下をくぐります。



10 くぐった状態。



11 親指にかかった糸をはずします。



12 先端に続く方の糸の下に親指を入れます。



13 親指で糸を引っ張ると2つめの目ができます。9~13を繰り返して、目をつくります。

作り目ができたら、あみ針を1本抜き取りましょう。



1 作り目が終わった状態。



2 2本ある針の1本を抜き取ります。



3 目が残っている針は左手に、抜き取った方の針は右手に持ちます。